

民報あばしり

NO.1003

2015/1/18

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三・四四五八
F四三三・四四五七



大雪の爪痕は市内各所に残っています 本格的除排雪は20日前後から

年末に降った大雪は溶けて固まり、年明けでも道路際の積雪による交通渋滞や凍りついた路面による歩行障害など市民生活に大きな影響をあたえています。

市内中心部は国道、道道、市道と重なりあつてるところがあり、道路脇の排雪が十分でなく、今後、開発建設部や道の建設管理部と市の連携による早



道々中園網走停車場線潮見2丁目

期の除排雪がのぞまれます。市内の中でも積雪の多い地域は、道路状況が一段と悪く、早期の排雪が望まれています。

市の担当者に問い合わせたところ、「市内の積雪や堆積による道路状況の悪化は把握している。通行にも不便をかけており、緊急性に依拠して現在対処しているが、まだまだ行き届かないところがある」とのこと。

「全市対象の除排雪は20日前後から市内中心部より始めて、流水まつり前には終了する計画で、その時には、凍りついてデコボコの路面も解消できる見込みです。」

国道、道道、市道が入り組んでいるところでは、開発局や北海道と連携して、市民の安全・安心の除雪体制をしっかりとやっていきたい」と述べていました。

日本共産党市議団に寄せられた市民の声は「今年の大雪は、溶けた後に凍りつき、今までにない状況だとは認めるが、現実には歩行による転倒者とケガ人も多いと聞いています。」

新成人おめでとう！

20年以上続いている会場前での核兵器廃絶署名に共産党や新日本婦人の会、原水爆禁止網走協議会から多数が参加しました。



「おめでとう！署名よろしく！若者の未来がかかっているからね！」と呼びかけ、平和を訴えるリーフを手渡ししました。出席した274人は華やかな振袖姿やスーツ姿、茶髪で決めた「核兵器はいらない」「原発も、俺は反対だ！いらぬやない！」などと、語りながら、久しぶりに合う同級生や友達、仲間たちと会場に入っていました。入口の近くでは、飯田市議と菊地市議予定候補がマイクを握り「若い人が明るい未来と希望の持てる安心できる社会にしたいために、今の政治を変えていきましょう。」と新成人に訴えていました。

特に国道や道道の除雪や幅寄せは不十分で、交差点の見通しのきかない所の隅切角の除排雪（堆積した雪を取り除き、見通しをよくする）を行わねばならず、今後、十分な連携と対応をとるべきではないか」との声が多くありました。

2015年 新春のつどい

みなさん、お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時 1月25日(日) 午後1時30分～3時30分

場所 エコーセンター 2階大会議室

会費 千円(中学生以下無料)

主催 日本共産党網走市委員会、日本共産党網走市後援会

菊地ひろし まっしぐら

「市民アンケート」に「大曲から第2中学校・桂陽高校へ通うことになり交通費がかかり大変です。また、大曲から向陽の直通バスがない。あつても第2中学校には間に合わない」との事なので、網走バスに行ってみようかと。説明によると、少し時間は早いのですが、乗り継ぎになります。間に合うバスがありました。行先、つくし方面で、大曲2丁目から7時20分発→西7丁目(ロイヤルホテル前)7時27分着で下車→乗り換えて行先、網走駅・向陽行きで向陽入口7時29分着に乗ると大丈夫のはずです。それにしても教育にお金がかかり過ぎます。お金のことを気にせず教育を受けさせてあげたいものです。

松浦 奮戦モロ

年が明けて、早くも安倍内閣は国民イジメを始めますが、その一つが、医療保険制度「改革」です。その「改革案」では、「自然増」も含め聖域なく見直す」といいます。現役世代3割、高齢者1/3割という窓口負担で悲鳴が上がりつつありますが、国は、それを「不公平」だとして、75歳以上の窓口負担を引き上げようとしています。75歳以上を差別する後期高齢者医療を導入したさい、国民の怒りに押されて低所得者に対する保険料の「特例軽減」を2017年度から打ち切る計画です。これまでに「8.5割減額」を受けていた人の保険料は2倍、「9割減額」の人は3倍にもなります。消費税8%にするとき全て社会保障のために使うと言っていたはずですが、これではアベノミクスどころか、アベコベです。

流水

類を見ない発酵食品、日本の風土で育んだコンブや鰹節などが生み出した独特な「うまみ」によるダシ食文化、素材の良さをシンプルに生かす調理方法を活用した「和食」が「世界無形遺産」とされ、世界中から注目されています。▼「うまみ」は東大の池田菊苗博士が、その味の分類、甘、酸、塩、苦味では表現できない独立した味として「うまみ」と名付けたもので、「グルタミン」に由来し、その後、鰹節の味は「イノシン酸」しいたけは「グアニル酸」であることなどが、つきとめられています。それから簡便性が利して料理になくてはならないものとして利用されてきました。▼反面、問題点も続出してきました。日本における調味料に、製法はサトウキビづくりの副産物の蔗糖蜜に微生物を混ぜ、「グルタミン酸」をつくらせ、それからナトリウム塩として取りだす方法が一般的です。しかし、輸入品には他の方法による大量生産法が用いられているようです。中国などでは、遺伝子組み換え法も許可されているなど、問題点が多く、わが国の当局も、その把握が十分でないのが実情です。▼早急な実情の検討、十分な対策がなによりも必要です。日本政府は国民の健康を守るために、検査体制を強化すべきです。(K)